

令和6年度 介護予防に資する指導者等養成事業 多職種合同研修会 開催報告



令和7年1月19日（日）、大阪市の国民會館にて「令和6年度 介護予防に資する指導者等養成事業 多職種合同研修会」が開催されました。本研修会は、介護予防や地域ケアに関わる多職種の専門職が集まり、各職種間の連携強化と情報共有を目的として行われました。栄養士会からは15名が参加し、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士など、総勢86名が集まりました。

研修会は、福祉部高齢介護室の本本和伸課長をはじめとする各団体代表の挨拶に始まり、大阪府福祉部の植田恵美氏による「地域ケア会議に関わる専門職像」の報告が行われました。その後、事例検討を通じて多職種連携の重要性や、専門職種での効果的な助言方法について話し合いが行われました。

午後からは、大阪府後期高齢者医療広域連合の東真由美氏と早川久美子氏による「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に関する講演が行われ、最新の取り組み状況が紹介されました。さらに、グループワークや発表の場では、参加者同士が市町村との連携方法について積極的に意見交換を行い、専門職としての役割を深める機会となりました。

管理栄養士・栄養士は、高齢者の健康維持や介護予防において重要な役割を果たしており、今後さらにその役割が期待されています。

今回の研修会を通じて、多職種の協力体制をさらに強化し、管理栄養士・栄養士として地域ケアに貢献するための有益な知識と交流の機会が得られました。

（文責 医療 田中治子）

自然に健康になれる持続可能な食環境づくり事業開催

令和7年1月に大阪府が実施する「自然に健康になれる持続可能な食環境づくり事業」に参画する実証施設内（企業3社、大学3校）において、食育SATシステムを活用した栄養・食生活相談を実施し、（公社）大阪府栄養士会も協力しました。



山崎製パン



立命館大学